

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第4学年 「図画工作（開隆堂）」

42時間（70%）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点
1 ～ 3	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞	絵の具で遊んで「自分いろいろがみ」 6時間	筆を使った技法以外の絵の具遊びから模様づくりや表現を楽しみ、「自分いろいろがみ」としてストックする。それらを活用して絵に表す。	6	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	(1)ア 絵 【選択】	へんてこ山の物語 6時間	「こんな山があったらおもしろいな」と、いろいろな山の形を考え、その山をかきながらお話を発想して絵に表す。	6	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
4 ～ 6	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞	トントンつないで 6時間	のこぎりで角材をいろいろな形に切る。切った木片と薄い板などを短くぎでつなぐことで生まれる動きから想像を広げ、動くとおもしろいものをつくる。	6	・作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。
	(1)ア 工作 【選択】	つくって、つかって、たのしんで 6時間	棚や箱といった収納機能をもつものやその構造を、板や造形紙などの材料を使ってつくる。	6	・作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・速乾性の接着剤を活用し、乾燥時間の短縮を図る。
7	A表現 (1)ア(2)ア B鑑賞 (1)ア 造形遊び	みんなで、どンドン むすんで、つないで 2時間	場所を考えて木の枝をひもでつなぐ活動から発想し、つなぎ方やつないだ形のおもしろさを確かめながら表現する。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。 ・学校の植木の剪定で出た枝をストックしておくとうい。
8	B鑑賞 (1)ア	カードで味わう、形・色 3時間	「好きな色・おもしろい形」の組み合わせを考えてかいたり貼ったりした「模様カード」をつくり、それを使って形や色のよさや面白さを感じ取る。	3	
9 ～ 10	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞	見つけたよ、この色 すてきだね、その色 3時間	絵の具を混ぜてつくる色（混色）を使って、小さな画用紙に花や木・鳥や魚等のテーマで、色の仲間づくりをしながら描く。	3	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	(1)ア 絵 【選択】	友だち、たくさん集まって 3時間	「自分マーク」など、もとのものの形を決め、それらを何にどのような形や色として、たくさん詰め込んだら楽しいかを想像しながら描く。	3	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・用具を制限することで、時間削減できるよう配慮する。
11 ～ 12	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア	リズムにのって 4時間	動物たちが踊り出したら楽しいだろうな、と想像したことを粘土で立体に表す。	4	
	立体・工作 【選択】	バックバック 4時間	輪切りにした牛乳パックにつくりたいものに合った効果的な材料を選んだり、イメージに合った動きが生まれるように紙の貼り方やつくり方を工夫したりして、おもしろい動きのする楽しいおもちゃをつくる。	4	
		ゆめいろらんぶ 4時間	色セロハンや油性マーカーなどの光を通す材料で、自分の気に入った模様をペットボトルなどの透明容器に施し、中から発した光に色をつけて楽しむ。	4	
13	A表現 (1)ア(2)ア B鑑賞 (1)ア 造形遊び	いい場所見つけて、囲んでみよう 2時間	仕切ることから生まれた空間と様々な材料との関わりから見慣れた場所に対する感じ方が変わることを楽しみながら、友達と協力して活動する。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
14 ～ 15	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞	ハッピーカード 4時間	自分の経験の中から、感動したこと、発見したこと、想像をふくらませて楽しんだことなど、伝えたいことを絵はがきやカードにして表す。	4	
	(1)ア 絵 【選択】	木々を見つめて 4時間	木々の形や色、触り心地などの特徴を感じて気に入った木を見つけ、絵の具やクレヨンなどで形や色を工夫しながら、表し方を試したり、見つけたりしてかくことを楽しむ。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。

16 ～ 18	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 絵	ほると出てくる不思議な花 6時間	ベースとなる紙を刷る。次時、刷った紙の形や色から想像を広げ、版木の裏面に彫り、版をつくる。	6 家庭	・第3学年で版画の題材を扱っていない場合は、第4学年で扱う。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
19 ～ 21	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 立体	願いの種から 6時間	自分の身近な願いに関わる形の種をつくり、そこから芽つぎや根、実や花をイメージしてつくる。ウレタンフォームや発泡スチロールを紙粘土でくるんだり、身近な材料で芽や根、花や実の形や色を考えたりする。	6 家庭	・作品の大きさや扱う材料を制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・速乾性の接着剤を活用し、乾燥時間の短縮を図る。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。

※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、工作の題材として、「トントンつないで」「つくって、つかって、たのしんで」のいずれかを選択して実施する。 など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、製作時間の短縮を図る。

○題材によっては、乾燥に時間がかからない、油性ペンや色鉛筆、クレヨンなどの用具を使用する。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、児童が選択して製作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で行うことが考えられる。

○振り返り（製作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞するなどの工夫をすることが考えられる。友達作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して児童に返す。